

3 関係機関との連携協力

—アジア資料・情報の利活用促進のために—

アジア資料・情報の利活用を促進するため、関係機関との連携協力を積極的に行っています。

アジア情報研修

図書館員、研究者・大学院生、中央省庁・自治体職員の方などを対象に開催しています。アジア資料・情報の提供・利用に携わる方々のスキル向上と連携の促進を目的としています。

【近年のテーマ】

- 韓国の諸制度と統計を調べる(アジア経済研究所との共催)
- 台湾情報の調べ方 — 諸制度と統計を中心に — (同上)



アジア情報研修の様子

アジア情報関係機関懇談会

アジア情報関係機関間の連携を深め、国全体としてのアジア情報資源の充実と流通促進に資することを目的としています。関係機関や研究者などが集まり、意欲的な取組の事例報告や意見交換を行っています。

【近年のテーマ】

- 多文化共生施策と図書館の多文化サービス
- アジア資料・情報の有効活用に向けた図書館と大学教員の役割と連携



アジア情報関係機関懇談会の様子

ガイダンス、情報交換会

研究者や学生・大学院生向けの来館・出張ガイダンス、大学図書館との合同利用ガイダンス、アジア言語資料の書誌作成に関する情報交換会などを行っています。ご要望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

利用案内

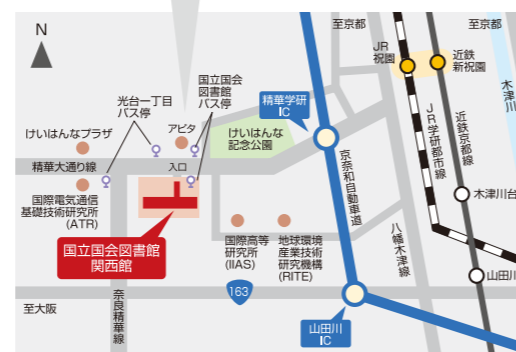
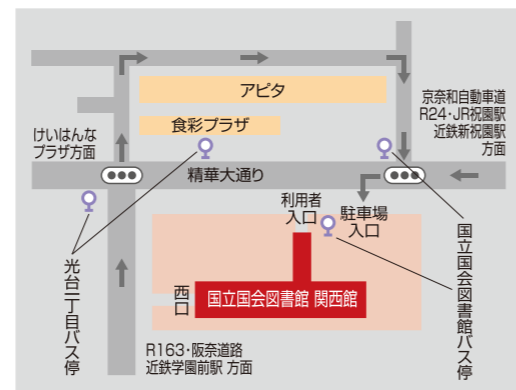
- **利用資格** / 原則として満18歳以上 ※満18歳未満の方はご相談ください。
- **開館時間** / 9:30～18:00
- **休館日** / 日曜日、国民の祝日・休日、
毎月第3水曜日(資料整理休館日)、年末年始等

【公共交通機関で】

- 近鉄京都線 新祝園駅/JR学研都市線 祝園駅から 奈良交通バス
- 近鉄けいはんな線 学研奈良登美ヶ丘駅から 奈良交通バス
「国立国会図書館」下車(10・15分程度)

【お車で(無料駐車場あり)】

- 京奈和自動車道精華学研I.C.→精華大通りを西へ
- 国道163号線→府道52号線(奈良精華線)を北へ



国立国会図書館関西館アジア情報課

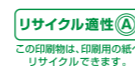
〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3

TEL 0774-98-1200(自動音声案内)

0774-98-1390(アジア資料案内 9:30-17:00)

アジア情報室ホームページ <http://rnavi.ndl.go.jp/asia/>

2018(平成30)年1月発行



国立国会図書館 関西館 アジア情報室

国立国会図書館は、1948(昭和23)年の開館以来、アジア関係の専門室を置いています。2002(平成14)年の関西館開館を機に、アジア情報室を設け、資料・情報・サービスの拡充を図ってきました。

アジア情報室は、東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東・北アフリカ地域を対象とする資料・情報を、収集し、提供しています。

多くの方に、信頼性の高い情報に的確かつ効率的にアクセスし、活用していただけるように、図書館サービスの提供とともに、「活用のための情報発信」と「関係機関との連携協力」に積極的に取り組んでいます。

アジア情報室の3つの機能

- 1 図書館サービスの提供
- 2 活用のための情報発信
- 3 関係機関との連携協力

1 図書館サービスの提供

—アジア資料・情報の一大拠点—

日本有数の蔵書数を誇る様々な種類のアジア言語資料や、アジアについて書かれた日本語・欧米言語資料を基盤として、様々なサービスを提供しています。

アジア情報室の資料 (2017(平成29)年11月末現在)

1. 図書			2. 雑誌	
	単位:冊(概数) / % (言語別割合)		単位:誌(概数)	()内は継続刊行中のもの
中国語	365,000 / 76.0	中国語	4,400	(2,010)
朝鮮語	47,800 / 10.0	朝鮮語	2,960	(1,160)
その他の東アジア言語	900 / 0.2	その他のアジア言語	930	(330)
東南アジア言語	31,000 / 6.4			
南アジア言語	2,000 / 0.4	3. 新聞		
中央アジア言語	1,000 / 0.2	単位:紙(概数)		()内は継続刊行中のもの
中東・北アフリカ言語	8,500 / 1.8	中国語	370	(80)
欧米言語	24,000 / 5.0	朝鮮語	180	(30)
		その他のアジア言語	90	(30)

* このほか、調査に役立つ日本語図書・雑誌も揃えています。
** 漢籍・朝鮮本、アジア各国・地域の官報・法令集などは東京本館で、アジア各国・地域の児童書は国際子ども図書館で、所蔵しています。

4. アジア関係の主なデータベース

- CNKI (China National Knowledge Infrastructure) / 中国の約6,000万件の学术论文、約1,500万件の新聞記事を収録
- KISS (Koreanstudies Information Service System) / 韓国の約140万件の学术论文を収録
- 文淵閣四庫全書 電子版 / 中国の約3,500種8万巻の典籍を収録

所蔵資料の検索

アジア情報室のほとんどの資料は、国立国会図書館の膨大な資料群(図書、雑誌記事など)とともに、国立国会図書館オンライン(<https://ndlonline.ndl.go.jp>)で検索できます。

来館された方へのサービス

1. 閲覧
アジア情報室の書棚にある資料(概説書、年鑑、辞典、主要な雑誌・新聞など)、CNKIなどのデータベース、国立国会図書館デジタルコレクションなどを、ご利用いただけます。利用者登録をすると、上記に加えて、書庫にある大多数の資料も閲覧できます。
なお、資料の館外貸出しは行っておりません。

2. 複写・プリントアウト
有料で行っています。

3. レファレンス
「アジア情報案内」で、アジア資料・情報に関するご相談に応じています。

関西館への来館が難しい方へのサービス

1. お近くの公共図書館などで
資料の複写、図書館間貸出しによる資料の閲覧、詳細な調査が必要なお問合せ(文書レファレンス)の申込ができます。

2. 国立国会図書館オンラインで
登録利用者の方は、ここからも資料複写の申込ができます。

3. 電話で 【0774-98-1390】
アジア資料・情報に関して、その場でお答えできるお問合せに応じています。

4. 東京本館で
一部を除き、資料を東京本館に取寄せて利用できます。

2 活用のための情報発信

—アジア資料・情報の道先案内人—

アジア情報室の職員が日々の業務の中で蓄積したノウハウをもとに、アジア資料・情報を活用するための情報を、当館リサーチ・ナビのページ(<http://rnavi.ndl.go.jp>)を通じて発信しています。

「アジア諸国の情報をさがす」のページ <http://rnavi.ndl.go.jp/asia/>



1. アジア情報の調べ案内

政治・法律・行政、経済・産業、歴史・地理、地図、哲学・宗教、科学技術、学術一般、新聞などの分野別に、調べる際に有用な資料や情報源を案内

3. アジア情報機関ディレクトリー

アジア言語・アジア関係資料を所蔵する日本国内の機関の情報を掲載

2. AsiaLinks—アジア関係リンク集—

アジア各国・地域のウェブ情報源を、国・地域別、機関別、テーマ別に掲載

4. アジア言語資料の出版・書誌情報

アジア地域で刊行された日本関係図書リストなど、アジア言語資料を収集・提供している図書館などにとって役立つ情報を紹介(「アジア情報室の活動」の中にあります)

『アジア情報室通報』(季刊)

アジア研究者やアジア関係資料・情報を担当する図書館員の方に向けて、アジア情報室の活動や、アジア資料に関する有益な情報などを、お伝えしています。
「アジア諸国の情報をさがす」の中にある「刊行物」のページで、2003(平成15)年3月の創刊号からの全文を公開しています。
<http://rnavi.ndl.go.jp/asia/entry/asia-pub.php>

